



## B&G 財団主催 「要配慮児童向け防災教室 in 養父市」を実施

2026年2月28日（土）午前10時から、やぶ市民交流広場（養父市八鹿町八鹿）で「要配慮児童向け防災教室 in 養父市」を実施します。

障がいのある子どもたちは、災害時に配慮が必要とされる一方、個別避難計画（本人及びその家族がどこに避難し、どのような支援が必要か記載した計画書）の作成が十分に進んでいないなど、防災支援が届きにくい現状があり、避難所における避難者の安心安全の確保が課題となっています。

過去の災害で得た教訓を基に、「要配慮児童とどう向き合うか」について講演や意見交換会を通じて、当事者、家族、支援者が共に学び、また、関係機関同士の交流や相互理解を深め、支え合える体制を築くことで、誰もが安心して暮らせる養父市の実現を目指すことを目的に実施します。

【参考写真】養父市で行った避難所開設訓練の様子（2025年7月撮影）



介助スペース



要救護者の誘導

日 時：2026年2月28日（日）午前10時～午後2時

場 所：やぶ市民交流広場 大会議室（養父市八鹿町八鹿 538-1）

参加者：約50人

（要配慮児童とその家族：約20人、行政職員：約20人、学校関係者：約10人）

内 容

・午前の部（午前10時～正午）

(1) 防災を学ぼう：防災アイズブレイク「災害に備える防災紙芝居・〇×ゲーム」

(2) 避難所体験会：防災ワークショップ「簡易トイレ作り+体験」「煙ハウス体験」等

(3) 子ども向け非常食体験会

(4) 保護者向け講演会「要配慮児童の避難体制の在り方および個別避難計画作成の重要性」

・午後の部（午後12時30分～午後2時）

(5) 行政・学校関係者向け講演会「過去の災害から学ぶ要配慮児童家族との向き合い方」

・講師：石井 布紀子 氏（兵庫県西宮市出身/NPO 法人さくらネット代表）

1966年兵庫県生まれ。1989年、徳島大学医学部栄養学科卒業。1995年の阪神・淡路大震災では、緊急救援センターの世話人として活動。以降、中央防災会議や人と防災未来センターなどでアドバイザーを歴任。障がい児・者に対する防災分野において高い専門知見を有し、全国各地で多数の講演実績を持つ。

主 催：B&G 財団 共 催：養父市（2024年8月に締結した防災協定の事業の一環）

その他：参加者の個人情報については十分ご配慮ください。

【問合せ】

危機管理室 防災安全課 課長：津崎 宏行 担当者：藤原 淳二

電話：079-662-2899 ※当日の連絡先 担当者 藤原 携帯：080-9210-2960